

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	凧元町		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職を配置していることにより、利用者様に専門的な支援を行ったり、保護者様に専門的な助言を行うことができる。	児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員が、専門職と連携して、活動プログラムを立案し、専門的な支援が行えるようにしている。	日頃から連携をしていくことで、専門職以外の職員も、専門的な知識を深めていくことで、事業所全体として、支援の質を高めていけるようにしていきたい。
2	活動プログラムが固定化しないように、様々な活動に取り組んでいる。	隔週で机上の活動と体を使った運動を設定している。机上の活動では、季節に応じた工作や、個別に興味や特性に配慮した活動にも取り組んでいる。	支援の内容を豊かにしていくために、常に新しい情報を取り入れ、それをどのようにいかしていけるかを考え、利用者様が主体的に取り組めるためのプログラムを検討していきたい。

3	利用者が過ごす部屋が複数ある。	利用者の特性や、取り組む内容によって、使用する部屋を分けています。	利用者が安心して過ごせるように、活動毎に過ごす部屋を柔軟に対応できるようにしていきます。
---	-----------------	-----------------------------------	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室外の活動が少ない。	室外で活動をする場合は、室内に比べ、安全性を確保することがより重要になってくるため、そのための人員体制を整えることが難しい。	安全に過ごすことができる場所を探したり、日によって人員が整うことがあれば、柔軟に活動の内容を変更して、外での活動も取り入れていきたい。
2	利用者が過ごす部屋が複数ある。	利用者が過ごす部屋が複数あることで、同時に各部屋の状況を把握しにくい。	できる限り、各部屋に職員を配置しているが、どうしても難しい状況であれば、各職員が連携をし、複数の部屋を同時に視認できるようにしながら確認を行っている。
3			